

人口問題研究所  
研究資料第243号  
昭和61年12月24日

Institute of Population Problems  
Research Series, No.243  
December 24, 1986

# 全国日本人人口の再生産に関する指標

昭和55年～60年

INDICATORS OF POPULATION REPRODUCTIVITY  
FOR THE JAPANESE POPULATION IN 1980—1985

厚生省人口問題研究所

Institute of Population Problems  
Ministry of Health and Welfare  
Tokyo, Japan

## 序 文

ここに集録した全国日本人人口についての再生産諸指標、すなわち、標準化人口動態率（標準人口：昭和5年全国）、女子の人口再生産率、ならびに安定人口（動態率・平均世代間隔・年齢構造係数）の算定は、昭和59年まで人口情報部解析科、昭和60年より人口情報部人口解析センターにおいて毎年行なわれており、本研究所の機関誌『人口問題研究』に逐次発表してきている。さらに、その結果を6年次分ごとに取りまとめ、各指標を一括して研究資料として発行する形をとっており、今回は、これら指標の昭和55年以降60年までの分をまとめて、既刊の研究資料に連結する資料としてこれを発行するものである。

集録した諸指標については、その概念および算定方法についての専門的説明を必要とするので、より詳しくは、既刊の研究資料（第155・157・161号等）に詳述してあるものを参照されたい。なお、既刊の資料と同様に、この資料の計算過程において用いられた諸種の数値のなかにも、利用性の広いものが含まれているので、繁雑をいとわず、できるだけ同時にそれらも掲載してある。大方の利用に役だてば幸いである。

この資料の作成は、人口情報部人口解析センター室長 伊藤達也技官、同センター 石川晃技官ならびに坂東里江子技官が担当したものである。なお、昭和55年から58年までの統計作成は人口政策研究部人口政策研究室長 金子武治技官（当時人口情報部解析科長）、59年は同部主任研究官 山本道子技官がそれぞれ担当・協力したものである。

昭和61年12月24日

厚生省人口問題研究所長

河野 稠 果

# 目 次

I 標準化人口動態率 .....	1
II 女子の人口再生産率 .....	6
III 女子の安定人口に関する指標 .....	12
付1 計算に用いた資料 .....	20
付2 計算に用いた数値 .....	22

# 表 目 次

## 1. 標準化人口動態率

第1表 昭和5年全国人口を標準とする年次別標準化人口動態率 および普通人口動態率：大正9年～昭和60年 .....	3
--	---

## 2. 女子の人口再生産率

第2表 年次別女子の人口再生産率：大正14年～昭和60年 .....	8
------------------------------------	---

第3表 女子の年齢別出生率および合計特殊出生率 ：昭和55年～60年 .....	9
---	---

第4表 女子の年齢別女児出生率および総再生産率と純再生産率 ：昭和55年～60年 .....	10
---	----

第5表 女子の年齢別有配偶出生率および昭和5年全国有配偶女子人口を 標準とする直接標準化出生率計算表：昭和55年，60年 .....	11
---	----

## 3. 女子の安定人口指標

第6表 年次別女子の安定人口動態率，平均世代間隔および年齢構造係数 ：大正14年～昭和60年 .....	14
---	----

第7表 安定人口に関する主要指標の定義 .....	15
---------------------------	----

第8表 女子の安定人口に関する主要指標および計算過程の主要数値 ：昭和55年～60年 .....	16
---	----

第9表 女子の安定人口年齢（各歳・5歳階級別）構造係数 ：昭和55年～60年 .....	17
---	----

## 付表と付図の目次

付表 1	男女、年齢（5歳階級）別日本人人口 .....	22
2	15歳から49歳までの年齢（各歳）別日本人女子人口 .....	23
3	女子の年齢（各歳・5歳階級）別出生児数 .....	24
4	女子の年齢（各歳・5歳階級）別出生女児数 .....	25
5	男女、年齢（5歳階級）別死亡数 .....	26
6	女子の15歳から49歳までの年齢（各歳）別生残数 .....	27
付図 1	出生率の推移：昭和22年～60年 .....	28
2	死亡率の推移：昭和22年～60年 .....	29
3	自然増加率の推移：昭和22年～60年 .....	30
4	女子の人口再生産率の推移：昭和22年～60年 .....	31

# I 標準化人口動態率

特定年における出生数をその年を代表する人口で除した値を普通（または粗）出生率と呼ぶ。異なった年次の普通出生率を比較しようとするとき、その率算定の分母となる人口の構造は、たとえ同じ日本の人口でも年によって異なるのが普通である。すなわち、年齢別にみた女子の特殊出生率が、どの年齢についても相異なる二つの年次の人口について全く同一であったとしても、年齢構造が互いに異なるならば、両人口の普通出生率はその年齢構造の差異の影響を受けることになる。また、年齢別出生率において配偶関係を考慮に入れ、有配偶女子についての年齢別出生率を考えた場合、それが二つの人口において相等しいとしても、年齢構造ならびに配偶関係構造が異なれば、普通出生率はそれだけの影響を受けることになる。したがって、そのような年齢構造や配偶関係構造の相違によって受ける影響を除くことが望ましい場合に、この標準化という操作を行なう。この操作によって得られた出生率を標準化出生率と呼ぶ。

標準化の方法には直接法と間接法とがあつて、これは出生率の計算の場合ばかりでなく、死亡率の場合についても同様である。標準化の計算の実際の手続きについては、紙幅の都合上ここには省略のほかないが、本資料における直接標準化の計算手続きの骨子をしるすと次のごとくである。

いくつかの人口についての出生率を比較しようとするとき、おのおのの人口について、女子の年齢別出生率 ( $f_P(x)$ ) を求める。一方、標準とすべき人口（この場合、標準人口にどのような人口を採るかは任意としており、ここでは従来どおり昭和5年の全国人口を用いている）を定め、その女子の年齢別人口 ( $P_P(x)$ ) に、上記のそれぞれの人口の  $f_P(x)$  を適用することによって、標準人口によって生ずると期待される出生数を求め、標準人口の大きさに対するそれらの期待出生数の比率を算出すれば、それが標準化出生率となる。出生のすべて、あるいは大部分が有配偶女子から起こると考えられるときには、有配偶女子についての年齢別出生率 ( $f_{Pm}(x)$ ) を求め、これを標準人口の有配偶女子人口に適用するならば、年齢構造とともに配偶関係構造の差異をも除去した標準化出生率が得られる。

死亡率の標準化も考え方の原理は出生率の場合と同じであるが、ただ標準化死亡率の計算の場合には、年齢別死亡率 ( $m(x)$ ) を男女別に算出し、それらをそれぞれ男女別年齢構造 ( $P(x)$ ) に適用して求めることが普通である。標準化自然増加率は、求められた出生率と死亡率の差として算出される。

間接法は、直接法における  $f(x)$  や  $m(x)$  を求める材料が限られている場合の代用であり、簡便法である。その計算方法、その他標準化についての詳細は人口問題研究所研究資料第155号『わが国の年次別標準化人口動態率 大正9年～昭和35年』昭和38年8月刊および同じく第204号『全国日本人人口の標準化動態率 昭和22年～45年』昭和49年1月刊を参照されたい。

第1表 昭和5年全国人口を標準とする年次別標準化人口動態率

および普通人口動態率：大正9年～昭和60年

(1) 率

(‰)

年次	標準化人口動態率					普通人口動態率		
	出生率		死亡率	自然増加率		出生率	死亡率	自然増加率
	(1) 全女子による場合	(2) 有配偶女子による場合		(1) 出生率が(1)による場合	(2) 出生率が(2)による場合			
大正 9 (1920)	...	...	25.59	...	...	36.19	25.41	10.78
10 (1921)	...	...	22.92	...	...	35.13	22.74	12.39
11 (1922)	...	...	22.58	...	...	34.31	22.42	11.89
12 (1923)	...	...	22.97	...	...	35.16	22.93	12.23
13 (1924)	...	...	21.20	...	...	33.94	21.32	12.62
14 (1925)	35.27	33.84	20.24	15.03	13.60	34.92	20.27	14.65
昭和 元 (1926)	...	...	19.04	...	...	34.65	19.11	15.54
2 (1927)	...	...	19.64	...	...	33.42	19.69	13.73
3 (1928)	...	...	19.71	...	...	34.12	19.76	14.36
4 (1929)	...	...	19.85	...	...	32.73	19.87	12.86
5 (1930)	32.35	32.35	18.17	14.18	14.18	32.35	18.17	14.18
6 (1931)	...	...	19.06	...	...	32.12	18.96	13.16
7 (1932)	...	...	17.83	...	...	32.86	17.69	15.17
8 (1933)	...	...	18.04	...	...	31.46	17.71	13.75
9 (1934)	...	...	18.32	...	...	29.92	18.08	11.84
10 (1935)	...	...	17.03	...	...	31.63	16.78	14.85
11 (1936)	...	...	17.88	...	...	29.98	17.55	12.43
12 (1937)	29.77	...	17.35	12.42	...	30.88	17.10	13.78
13 (1938)	26.02	...	17.99	8.03	...	27.15	17.74	9.41
14 (1939)	25.37	...	18.22	7.15	...	26.64	17.77	8.87
15 (1940)	27.74	31.83	16.80	10.94	15.03	28.95	16.24	12.71
22 (1947)	30.87	...	15.40	15.47	...	34.54	14.68	19.86
23 (1948)	30.05	...	12.37	17.68	...	33.75	11.96	21.78
24 (1949)	29.83	...	11.94	17.89	...	33.20	11.64	21.56
25 (1950)	25.47	31.19	11.03	14.44	20.16	28.27	10.95	17.33
26 (1951)	22.76	...	9.93	12.83	...	25.45	9.99	15.46
27 (1952)	20.85	...	8.91	11.94	...	23.52	8.98	14.55
28 (1953)	18.96	...	8.88	10.08	...	21.62	8.94	12.68
29 (1954)	17.54	...	8.19	9.35	...	20.19	8.23	11.96
30 (1955)	16.88	23.57	7.70	9.18	15.87	19.52	7.82	11.70
31 (1956)	15.91	...	7.89	8.02	...	18.59	8.09	10.50
32 (1957)	14.69	...	8.04	6.65	...	17.34	8.33	9.01
33 (1958)	15.27	...	7.18	8.09	...	18.14	7.51	10.63
34 (1959)	14.90	...	7.05	7.85	...	17.67	7.50	10.17
35 (1960)	14.69	21.36	7.02	7.67	14.34	17.30	7.61	9.69
36 (1961)	14.31	...	6.74	7.57	...	16.96	7.42	9.54
37 (1962)	14.34	...	6.67	7.67	...	17.11	7.51	9.60
38 (1963)	14.52	...	6.12	8.40	...	17.36	7.02	10.34
39 (1964)	14.89	...	5.94	8.95	...	17.77	6.97	10.80

第1表 昭和5年全国人口を標準とする年次別標準化人口動態率

および普通人口動態率：大正9年～昭和60年

(1) 率 (つづき)

(%)

年次	標準化人口動態率					普通人口動態率		
	出生率		死亡率	自然増加率		出生率	死亡率	自然増加率
	(1) 全女子による場合	(2) 有配偶女子による場合		(1) 出生率が(1)による場合	(2) 出生率が(2)による場合			
昭和40 (1965)	15.74	21.92	5.99	9.75	15.93	18.67	7.17	11.50
41 (1966)	11.80	...	5.57	6.23	...	13.82	6.81	7.02
42 (1967)	16.31	...	5.44	10.87	...	19.43	6.78	12.66
43 (1968)	15.37	...	5.37	10.00	...	18.58	6.82	11.77
44 (1969)	15.04	...	5.25	9.79	...	18.54	6.81	11.73
45 (1970)	15.26	21.64	5.22	10.04	16.42	18.76	6.91	11.84
46 (1971)	15.87	...	4.81	11.06	...	19.17	6.56	12.61
47 (1972)	15.97	...	4.69	11.28	...	19.28	6.47	12.81
48 (1973)	16.07	...	4.65	11.42	...	19.36	6.56	12.79
49 (1974)	15.47	...	4.49	10.98	...	18.55	6.49	12.06
50 (1975)	14.32	20.86	4.25	10.07	16.61	17.09	6.31	10.78
51 (1976)	13.65	...	4.09	9.56	...	16.30	6.25	10.05
52 (1977)	13.31	...	3.88	9.43	...	15.46	6.08	9.38
53 (1978)	13.25	...	3.76	9.49	...	14.92	6.08	8.84
54 (1979)	13.07	...	3.60	9.47	...	14.23	5.97	8.25
55 (1980)	12.76	21.45	3.62	9.15	17.83	13.56	6.21	7.34
56 (1981)	12.55	...	3.48	9.07	...	13.05	6.15	6.90
57 (1982)	12.75	...	3.31	9.44	...	12.84	6.03	6.81
58 (1983)	12.95	...	3.31	9.63	...	12.70	6.23	6.47
59 (1984)	12.96	...	3.20	9.76	...	12.46	6.19	6.27
60 (1985)	12.53	22.79	3.06	9.47	19.73	11.90	6.25	5.65

昭和15年以前および48年以降は沖縄県を含んでいる。…は算定不能。

標準化出生率は次のように二とおりの計算を行った。すなわち、(1)全女子人口の年齢別出生率を標準人口の年齢別人口に適用して算出した標準化出生率、(2)有配偶女子人口の年齢別出生率を標準人口の年齢別人口に適用した標準化出生率。

自然増加率は、2種の出生率と死亡率の差として算出。すなわち、(1)は全女子人口による場合の標準化出生率と死亡率の差、(2)は有配偶女子人口による場合の標準化出生率と死亡率の差である。

なお、率算出の基礎人口は、(1)の場合は昭和15年以前、(2)の場合は昭和50年以前については日本人人口が利用できないので、総人口（日本に在住する外国人を含む）を用いている。



第1表 (つづき)

(2) 指数

(昭和5年 = 100.0)

年次	標準化人口動態率					普通人口動態率		
	出生率		死亡率	自然増加率		出生率	死亡率	自然増加率
	(1)	(2)		(1)	(2)			
大正 14 (1925)	109.0	104.6	111.4	106.0	95.9	107.9	111.6	103.3
昭和 5 (1930)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
12 (1937)	92.0	...	95.5	87.6	...	95.5	94.1	97.2
13 (1938)	80.4	...	99.0	56.6	...	83.9	97.6	66.4
14 (1939)	78.4	...	100.3	50.4	...	82.3	97.8	62.6
15 (1940)	85.7	98.4	92.5	77.2	106.0	89.5	89.4	89.6
22 (1947)	95.4	...	84.8	109.1	...	106.8	80.8	140.1
23 (1948)	92.9	...	68.1	124.7	...	104.3	65.8	153.6
24 (1949)	92.2	...	65.7	126.2	...	102.6	64.1	152.0
25 (1950)	73.7	96.4	60.7	101.8	142.2	87.4	60.3	122.2
26 (1951)	70.4	...	54.7	90.5	...	78.7	55.0	109.0
27 (1952)	64.5	...	49.0	84.2	...	72.7	49.4	102.6
28 (1953)	58.6	...	48.9	71.1	...	66.8	49.2	89.4
29 (1954)	54.2	...	45.1	65.9	...	62.4	45.3	84.3
30 (1955)	52.2	72.9	42.4	64.7	111.9	60.3	43.0	82.5
31 (1956)	49.2	...	43.4	56.6	...	57.5	44.5	74.0
32 (1957)	45.4	...	44.2	46.9	...	53.6	45.8	63.5
33 (1958)	47.2	...	39.5	57.1	...	56.1	41.3	75.0
34 (1959)	46.1	...	38.8	55.4	...	54.6	41.3	71.7
35 (1960)	45.4	66.0	38.6	54.1	101.1	53.5	41.9	68.3
36 (1961)	44.2	...	37.1	53.4	...	52.4	40.8	67.3
37 (1962)	44.3	...	36.7	54.1	...	52.9	41.3	67.7
38 (1963)	44.9	...	33.7	59.2	...	53.7	38.6	72.9
39 (1964)	46.1	...	32.7	63.1	...	54.9	38.4	76.2
40 (1965)	48.7	67.8	33.0	68.8	112.3	57.7	39.5	81.1
41 (1966)	36.5	...	30.7	43.9	...	42.7	37.5	49.5
42 (1967)	50.4	...	29.9	76.7	...	60.1	37.3	89.3
43 (1968)	47.5	...	29.6	70.5	...	57.4	37.5	83.0
44 (1969)	46.5	...	28.9	69.0	...	57.3	37.5	82.7
45 (1970)	47.2	66.9	28.7	70.8	115.8	58.0	38.0	83.5
46 (1971)	49.1	...	26.5	78.0	...	59.3	36.1	88.9
47 (1972)	49.4	...	25.8	79.5	...	59.6	35.6	90.3
48 (1973)	49.7	...	25.6	80.5	...	59.8	36.1	90.2
49 (1974)	47.8	...	24.7	77.4	...	57.3	35.7	85.0
50 (1975)	44.3	64.5	23.4	71.0	117.1	52.8	34.7	76.0
51 (1976)	44.2	...	22.5	67.4	...	50.4	34.4	70.9
52 (1977)	41.1	...	21.4	66.5	...	47.8	33.5	66.1
53 (1978)	41.0	...	20.7	66.9	...	46.1	33.5	62.3
54 (1979)	40.4	...	19.8	66.8	...	44.0	32.9	58.2
55 (1980)	39.4	66.3	19.9	64.5	126.0	41.9	34.2	51.8
56 (1981)	38.8	...	19.2	64.0	...	40.3	33.8	48.7
57 (1982)	39.4	...	18.2	66.6	...	39.7	33.2	48.0
58 (1983)	40.0	...	18.2	67.9	...	39.3	34.3	45.6
59 (1984)	40.1	...	17.6	68.8	...	38.5	34.1	44.2
60 (1985)	38.7	70.4	16.8	66.7	139.1	36.8	34.4	39.8

## Ⅱ 女子の人口再生産率

ある年の女子の各年齢の出生率を全部合計すると、この年の女子の年齢別出生率 ( $f_F(x)$ ) がこの年以後一定になったと仮定した場合、現在の女子のコウホート (同時出生集団) が再生産期間を経過する間に、現在のコウホートを置き換えるべき次のコウホートを男女児を合わせて何人再生産するかという再生産の程度を表わすこととなる。これを合計特殊出生率または粗再生産率と呼んでいるわけであるが、粗再生産率においては生まれた次のコウホートが死亡することを全く考えていないのであるから、それは人口再生産の見地からみた出生力を表現するものである。

人口の再生産ということは、相続くコウホートによって置き換えられるということにほかならないのであるから、再生産を考える場合には、女子人口は女兒を再生産し、男子人口は男児を再生産すると考えるのが一般であり、理論的にもいっそう純粹である。ところが、合計特殊出生率は男児も女兒もともに含まれているから、女子の出生力を見る場合には、そのなかから女兒だけを取り出して考えればよい。こうして合計特殊出生率を出生女兒だけについて考えた場合が総再生産率であるが、これは現在の女子のコウホートが、今後、女子の年齢別女兒出生率が一定であると仮定した場合、1人当たり、再生産期間を通じて、すなわち、一生涯に自らと入れ替わる次のコウホートたる女兒を何人再生産するかという見方で女子人口の出生力を表わすものである。

総再生産率は現在のコウホートから生まれる出生女兒だけを考慮しているのであって、出生女兒が死亡することを少しも考慮していないから、女子の出生力はわかるが再生産力はわからない。そこで、15歳の母が生んだ女兒は15年たって15歳になって現在の女子人口を置き換え、16歳の母が生んだ女兒は16年たって16歳になって今の女子人口を置き換える……、というふうに考え、生まれた女兒の置き換える期間の生存の確率、つまり、歩どまりを見込めば出生と死亡の均衡によって再生産力を測ることができるというわけである。このように、総再生産率に出生女兒の生存の確率を見込んで計算した再生産率が純再生産率と呼ばれるものであるが、この純再生産率の計算は、総再生産率の計算の場合と同様に、出生力としてはその年の女子の年齢別女兒出生率 ( ${}_F f_F(x)$ ) を用いる。他方、生存の確率としては同時期の生命表の静止人口 ( $L_F(x)$ ) を用いる。

純再生産率は、ある年の出生の秩序と死亡の秩序が一定であると仮定した場合、現在のコウホートが1平均世代間隔の間に、自分たちを置き換える次のコウホートを1人当たり何人

生んでゆくか、そして生まれた子どもがどういう歩どまりで生存して現在のコウホートを置き換えていくかを物語るものである。したがって純再生産率が1ということは、現在の出生の秩序と死亡の秩序とが将来一定であると仮定した場合、1世代間に、人口の増減のない人口、すなわち静止人口になっていくことを示し、単純再生産であることを物語っている。純再生産率が1よりも大きい場合には拡大再生産、1よりも小さい場合には縮少再生産、すなわち、減退人口が現われるということを示している。また、純再生産率と総再生産率との比は再生産過程における歩どまりを示しているところから、これを再生産残存率と呼んでいる。

なお、合計特殊出生率（粗再生産率）を純再生産率で割った値は静止人口粗再生産率と呼ばれているが、これは死亡の秩序が不変であるとした場合、純再生産率が1になるような粗再生産率を表わしている。死亡率不変という仮定の下に、1平均世代間の後に人口を静止させるためには、現在の女子人口が一生涯に男女合わせて何人を生めばよいかということを示している。いわば人口増加ストップラインの粗再生産率である。また、粗再生産率から静止粗再生産率を差し引いた値は（次掲の第2表の欄(6)）、人口が静止するため粗再生産率に対して生みすぎている子女数を示すものである。

ここに示す再生産諸指標は、日本人女子人口に関するものである。その他人口再生産率についての詳細は、人口問題研究所研究資料第157号『わが国の年次別人口再生産率 大正14年～昭和35年』昭和38年12月刊、および同じく第205号『全国日本人女子の人口再生産率 昭和22年～45年』昭和49年1月刊を参照されたい。

第2表 年次別女子の人口再生産率：大正14年～昭和60年

年次	合計特殊 出生率	総再生 産率	純再生 産率	再生産 残存率	静止粗再 生産率	(1)-(5)	昭和5年を基準とした指数 (1930=100)		
							合計特殊 出生率	総再生 産率	純再生 産率
	(1)	(2)	(3)	(3)/(2)	(1)/(3)	(6)			
大正 14 (1925)	5.11	2.51	1.56	0.62	3.28	1.83	108.5	109.1	102.6
昭和 5 (1930)	4.71	2.30	1.52	0.66	3.10	1.61	100.0	100.0	100.0
12 (1937)	4.36	2.13	1.49	0.70	2.93	1.43	92.6	92.6	98.0
15 (1940)	4.11	2.01	1.44	0.72	2.85	1.26	87.3	87.3	94.7
22 (1947)	4.54	2.21	1.72	0.78	2.64	1.90	96.4	96.1	113.2
23 (1948)	4.40	2.14	1.76	0.82	2.50	1.89	93.4	93.0	115.8
24 (1949)	4.32	2.11	1.75	0.83	2.47	1.84	91.7	91.7	115.1
25 (1950)	3.65	1.77	1.51	0.85	2.42	1.23	77.5	77.0	99.3
26 (1951)	3.26	1.59	1.39	0.87	2.35	0.91	69.2	69.1	91.4
27 (1952)	2.98	1.45	1.29	0.89	2.30	0.67	63.3	63.0	84.9
28 (1953)	2.69	1.31	1.18	0.90	2.29	0.41	57.1	57.0	77.6
29 (1954)	2.48	1.20	1.09	0.91	2.27	0.21	52.7	52.2	71.7
30 (1955)	2.37	1.15	1.06	0.92	2.24	0.13	50.3	50.0	69.7
31 (1956)	2.22	1.08	0.99	0.92	2.24	-0.02	47.1	47.0	65.1
32 (1957)	2.04	0.99	0.92	0.93	2.22	-0.18	43.8	43.0	60.5
33 (1958)	2.11	1.03	0.96	0.94	2.20	-0.09	44.8	44.3	63.2
34 (1959)	2.04	1.00	0.94	0.94	2.17	-0.13	43.3	43.5	61.8
35 (1960)	2.00	0.97	0.92	0.94	2.18	-0.17	42.5	42.2	60.5
36 (1961)	1.96	0.95	0.91	0.95	2.17	-0.20	41.6	41.3	59.9
37 (1962)	1.98	0.96	0.92	0.96	2.16	-0.18	42.0	41.7	60.5
38 (1963)	2.00	0.97	0.94	0.96	2.14	-0.13	42.5	42.2	61.8
39 (1964)	2.05	1.00	0.96	0.96	2.14	-0.09	43.5	43.5	63.2
40 (1965)	2.14	1.04	1.01	0.97	2.12	0.02	45.4	45.2	66.4
41 (1966)	1.58	0.76	0.74	0.97	2.15	-0.57	33.5	33.0	48.7
42 (1967)	2.23	1.08	1.05	0.97	2.11	0.11	47.3	47.0	69.1
43 (1968)	2.13	1.03	1.00	0.97	2.13	0.00	45.2	44.8	65.8
44 (1969)	2.13	1.03	1.00	0.97	2.13	0.00	45.2	44.8	65.8
45 (1970)	2.13	1.03	1.00	0.97	2.13	0.01	45.2	44.8	65.8
46 (1971)	2.16	1.04	1.02	0.98	2.12	0.04	45.9	45.2	67.1
47 (1972)	2.14	1.04	1.01	0.98	2.11	0.03	45.4	45.2	66.4
48 (1973)	2.14	1.04	1.01	0.98	2.11	0.03	45.4	45.2	66.4
49 (1974)	2.05	0.99	0.97	0.98	2.11	-0.06	43.5	43.0	63.8
50 (1975)	1.91	0.93	0.91	0.98	2.10	-0.16	40.6	40.4	59.9
51 (1976)	1.85	0.90	0.88	0.98	2.10	-0.25	39.3	39.1	57.9
52 (1977)	1.80	0.87	0.86	0.98	2.10	-0.30	38.2	37.8	56.6
53 (1978)	1.79	0.87	0.86	0.98	2.10	-0.31	38.0	37.8	56.6
54 (1979)	1.77	0.86	0.84	0.98	2.10	-0.33	37.6	37.4	55.6
55 (1980)	1.75	0.85	0.84	0.99	2.09	-0.34	37.1	36.9	54.9
56 (1981)	1.74	0.85	0.83	0.99	2.09	-0.35	36.9	36.8	54.8
57 (1982)	1.77	0.86	0.85	0.99	2.08	-0.31	37.6	37.4	55.9
58 (1983)	1.80	0.88	0.86	0.99	2.08	-0.28	38.2	38.3	56.6
59 (1984)	1.81	0.88	0.87	0.99	2.08	-0.27	38.4	38.3	57.2
60 (1985)	1.76	0.86	0.85	0.99	2.07	-0.31	37.3	37.4	55.9

国勢調査人口およびそれに基づく推計人口、人口動態統計による出生数ならびに生命表の生残数(L(x))によって算出。率算出の基礎人口は、昭和15年以前は総人口(日本に在住する外国人を含む)を、22年以降は日本人人口を用いている。なお、昭和15年以前および48年以降は沖縄県を含む。

第3表 女子の年齢別出生率および合計特殊出生率：昭和55年～60年

(%)

年 齢	昭和55年 (1980)	昭和56年 (1981)	昭和57年 (1982)	昭和58年 (1983)	昭和59年 (1984)	昭和60年 (1985)
15	0.06	0.10	0.07	0.12	0.12	0.13
16	0.51	0.56	0.75	0.66	0.83	0.75
17	2.04	2.12	2.23	2.94	2.48	2.49
18	5.03	5.27	5.49	5.94	6.88	5.36
19	11.25	11.58	12.19	12.68	13.01	14.18
20	21.76	22.12	21.68	23.09	23.00	21.57
21	38.79	38.63	38.26	38.22	37.74	35.41
22	63.96	63.67	62.17	60.96	58.68	55.18
23	107.22	98.38	98.18	94.20	90.76	84.33
24	153.74	146.87	137.83	137.99	131.56	120.86
25	185.71	182.62	180.41	171.61	169.22	158.45
26	205.19	198.72	201.92	200.76	192.04	184.94
27	196.91	197.26	198.35	202.27	203.63	191.96
28	176.43	178.30	185.07	186.28	190.70	187.72
29	149.80	150.63	157.14	165.68	166.99	166.62
30	120.56	122.63	126.31	133.20	138.75	138.26
31	87.75	93.26	97.18	102.10	106.64	109.66
32	66.09	67.79	73.94	77.99	81.66	83.45
33	44.33	50.39	52.72	58.23	61.11	62.53
34	34.16	32.75	38.27	40.58	44.43	45.80
35	24.51	25.44	24.51	28.61	30.41	32.00
36	16.96	18.23	19.19	18.35	21.37	21.83
37	11.60	11.77	12.87	13.45	13.12	14.90
38	8.00	8.27	8.56	9.58	9.69	9.13
39	5.48	5.62	7.54	6.04	6.62	6.74
40	3.46	3.44	3.73	3.85	3.99	4.24
41	2.27	2.20	2.23	2.37	2.43	2.47
42	1.46	1.41	1.38	1.38	1.46	1.58
43	0.77	0.78	0.77	0.75	0.83	0.76
44	0.39	0.37	0.36	0.40	0.40	0.39
45	0.20	0.16	0.18	0.18	0.18	0.17
46	0.07	0.07	0.09	0.07	0.08	0.07
47	0.04	0.02	0.03	0.02	0.03	0.04
48	0.01	0.02	0.01	0.01	0.02	0.01
49	0.01	0.01	0.00	0.01	0.01	0.01
合計特殊出生率	1,746.51	1,741.46	1,769.83	1,800.57	1,810.85	1,763.97
15～19	3.63	3.91	4.10	4.37	4.49	4.11
20～24	77.07	73.45	71.64	70.79	67.56	61.84
25～29	181.51	180.59	184.07	185.06	184.13	177.85
30～34	73.11	71.71	74.79	79.03	83.37	85.51
35～39	12.90	13.06	14.41	16.28	17.69	17.61
40～44	1.66	1.69	1.79	1.82	1.85	1.80
45～49	0.06	0.06	0.06	0.06	0.06	0.06

第4表 女子の年齢別女兒出生率および総再生産率と純再生産率：昭和55年～60年

(%)

年 齢	昭和55年 (1980)	昭和56年 (1981)	昭和57年 (1982)	昭和58年 (1983)	昭和59年 (1984)	昭和60年 (1985)
15	0.03	0.04	0.04	0.06	0.05	0.06
16	0.24	0.28	0.34	0.33	0.39	0.38
17	0.96	1.02	1.05	1.46	1.13	1.20
18	2.48	2.56	2.70	2.82	3.39	2.57
19	5.57	5.56	5.81	6.14	6.41	6.92
20	10.42	10.64	10.41	11.21	11.25	10.36
21	18.81	18.66	18.66	18.63	18.33	17.17
22	30.97	30.75	30.03	29.81	28.44	26.90
23	51.94	47.87	47.64	45.97	44.58	41.11
24	75.05	71.42	67.06	67.13	64.03	58.62
25	90.13	88.37	87.76	83.84	82.33	76.88
26	99.45	96.32	98.48	97.45	93.81	89.76
27	95.75	95.91	96.19	98.37	99.22	93.26
28	85.93	86.66	90.39	90.40	92.58	91.54
29	72.67	73.13	76.47	80.63	80.97	81.13
30	58.37	59.75	61.54	64.56	67.71	67.65
31	42.28	45.61	47.55	49.43	51.95	53.50
32	32.05	32.80	36.15	37.98	39.75	40.55
33	21.64	24.52	25.60	28.17	29.58	30.56
34	16.58	15.98	18.61	19.75	21.78	22.25
35	11.84	12.39	11.82	13.88	14.72	15.41
36	8.24	8.80	9.50	9.00	10.38	10.49
37	5.69	5.72	6.33	6.49	6.36	7.27
38	3.90	4.04	4.15	4.63	4.64	4.50
39	2.68	2.72	2.79	3.01	3.16	3.26
40	1.71	1.70	1.82	1.84	1.96	2.05
41	1.12	1.08	1.09	1.14	1.21	1.20
42	0.74	0.67	0.67	0.66	0.70	0.79
43	0.38	0.38	0.36	0.37	0.38	0.36
44	0.19	0.17	0.18	0.19	0.19	0.19
45	0.08	0.07	0.08	0.09	0.09	0.07
46	0.03	0.04	0.03	0.02	0.04	0.04
47	0.01	0.01	0.02	0.01	0.01	0.02
48	0.00	0.01	0.01	0.00	0.01	0.01
49	0.00	0.01	0.00	0.01	0.00	0.00
総再生産率	847.91	845.66	861.32	875.48	881.54	858.03
15～19	1.78	1.88	1.96	2.11	2.19	2.00
20～24	37.43	35.63	34.77	34.50	32.94	30.04
25～29	88.16	87.64	89.61	90.01	89.59	86.47
30～34	35.40	34.92	36.47	38.34	40.62	41.71
35～39	6.27	6.35	7.02	7.93	8.56	8.52
40～44	0.82	0.83	0.87	0.88	0.90	0.88
45～49	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03
純再生産率 <sup>1)</sup>	835.30	833.47	849.34	863.74	870.16	847.64

1) (年齢別女兒出生率  $f_F(x)$  × 年齢別女子の生残数  $L_F(x)$ ) を15歳から49歳まで合計したものだ。

第5表 女子の年齢別有配偶出生率および昭和5年全国有配偶女子人口を標準とする  
直接標準化出生率計算表：昭和55年・60年

年齢階級	昭和5 (1930)年	昭和55 (1980)年			
	有配偶女子人口 (1)	有配偶女子人口 (2)	出生数 (3)	有配偶出生率 (3)/(2) (4)	期待出生数 (1)×(4) (5)
15～19	331,686	37,951	14,590	0.38444	127,514
20～24	1,631,559	842,862	296,856	0.35220	574,635
25～29	2,062,079	3,328,664	810,209	0.24340	501,918
30～34	1,849,491	4,687,732	388,938	0.08297	153,451
35～39	1,541,753	4,137,192	59,127	0.01429	22,034
40～44	1,365,391	3,724,112	6,911	0.00186	2,534
45～49	1,205,669	3,514,296	258	0.00007	89
計	9,987,628	20,272,809	1,576,889	1) 5.39620	1,382,175

1) 合計値を5倍した数値。

$$\text{標準化出生率 S. B. R.} = \frac{\text{期待出生児総数}}{\text{昭和5年の総人口}} = \frac{1,382,175}{64,450,005} = 0.02145$$

年齢階級	昭和5 (1930)年	昭和60 (1985)年			
	有配偶女子人口 (1)	有配偶女子人口 (2)	出生数 (3)	有配偶出生率 (3)/(2) (4)	期待出生数 (1)×(4) (5)
15～19	331,686	37,465	17,877	0.47718	158,273
20～24	1,631,559	723,672	247,348	0.34180	557,659
25～29	2,062,079	2,621,907	682,903	0.26046	537,090
30～34	1,849,491	3,871,475	381,476	0.09854	182,240
35～39	1,541,753	4,713,636	93,503	0.01984	30,583
40～44	1,365,391	4,049,157	8,224	0.00203	2,773
45～49	1,205,669	3,601,744	245	0.00007	82
計	9,987,628	19,619,056	1,431,577	1) 5.99952	1,468,701

1) 合計値を5倍した数値。

$$\text{S. B. R.} = \frac{1,468,701}{64,450,005} = 0.02279$$

有配偶女子人口は、日本人であり、配偶関係不詳の数値を既知の年齢別、配偶関係別割合に応じて案分補整した有配偶者数。また、出生数は、母の年齢が不詳の出生数につき、15～49歳の既知の年齢別数値に応じて案分補整したものである。

### Ⅲ 女子の安定人口に関する指標

安定人口は、その理論においても実際の計算方法においても、さきの標準化動態率や再生産率に比し、いっそう複雑な性質を有している。その概念を略記すると次のごとくである。

いま、移出入の全くない封鎖した人口を取り上げ、そのうち女子人口について考えよう。その女子人口について、年齢別女児出生率 ( ${}_F f_F(x)$ ) および年齢別死亡率 ( ${}_m F(x)$ ) を計算する。その女子人口の年齢別出生率と死亡率とは、その年以後、実際にはいろいろ変動してゆくであろう。しかし、いまこういう仮定をたてる。すなわち、その年以後  ${}_F f_F(x)$  と  ${}_m F(x)$  とがともに全く一定不変のまま継続してゆくとする。そのような条件の下に置かれた場合、その女子人口の年齢構造は初めのうちは変動を続けてゆくが、十分長い期間を経たのちには、年齢構造が全く変動しなくなってしまつて、いわゆる安定した年齢構造を顕現するに至る。つまり、最初は過去の具体的な歴史のなかで受けたいろいろの諸条件を背負い込んでいた年齢構造も、一定の出生秩序と死亡秩序を十分長い間（仮定的計算の下で）与えられることによって、それらの諸条件から解放、純粋化されて、その一定の出生秩序と死亡秩序とによってのみ純粋に規定された年齢構造に到達してしまう。このような構造を持つ人口を安定人口と言うのである。

この理論は、1907年に A. J. Lotka によってその基礎が発表され、1925年、L. I. Dublin とともに実際の計算法を可能ならしめた。安定状態に達したとき、年齢構造とともに普通出生率、死亡率および自然増加率すなわち、安定人口動態率のすべてが一定不変となる。つまり、年齢構造が一定であれば、各年齢における出生率、死亡率が一定であるから普通出生率、死亡率も一定となり、したがって自然増加率も一定となる。

安定人口動態率、たとえば安定人口増加率について言うと、通常の実際人口の自然増加率を考えた場合、それはいわば見せかけの自然増加率であるのに対して、安定増加率は、それに該当する実際人口がポテンシャルとして持っている真の自然増加率を意味するのである。すなわち、現在の人口年齢構造のいかんに関係なく、その出生力と死亡秩序とに対応して一定の自然増加率が空極的に定まるのであり、この安定人口増加率と呼ばれる空極的な増加率こそ、現在の人口がその出生と死亡秩序とにおいて有する固有の人口増殖力の表現と考えてよいわけであり、別名「真の自然増加率」とも称せられるゆえんでもある。

これは、一つの実際人口が与えられたときに持つ、出生秩序と死亡秩序に対応する極限人口構造について標準化した動態率、すなわち、極限人口の動態率を求める方法であり、安定



人口標準化法である（前記にもあるように、普通に標準化と言う場合は、任意標準人口標準化法によるものをさす）。

以上の諸指標の計算方法は、ここには省略のほかないが、安定人口の計算は男子人口についても行なわれ、その場合、男子は男児を生み、女子は女兒を生むというふうに考えて、統計的に処理して行なわれないと計算が困難である。本資料では女子人口についてのみの算定を行なっている。その他、安定人口についての詳細は、人口問題研究所研究資料第161号『わが国の年次別安定人口動態率および年齢構造 大正14年～昭和35年』昭和39年11月刊、および同じく第209号『全国日本人女子の安定人口動態率および年齢構造 昭和22年～45年』昭和50年3月刊を参照されたい。

第6表 年次別女子の安定人口動態率、平均世代間隔および年齢構造係数：  
大正14年～昭和60年（付、女子の実際人口年齢構造係数）

年次	安定人口動態率(%)			安定人口平均世代間隔(年)	安定人口年齢構造係数(%)			〔参考〕 実際人口年齢構造係数(%)		
	増加率	出生率	死亡率		0～14	15～64	65≤	0～14	15～64	65≤
大正 14 (1925)	15.19	35.95	20.76	29.24	37.57	57.77	4.66	36.54	57.73	5.73
昭和 5 (1930)	14.19	32.87	18.68	29.56	35.79	58.83	5.38	36.45	58.11	5.44
12 (1937)	13.40	30.37	16.97	29.88	34.57	59.49	5.94	36.48	58.14	5.38
15 (1940)	11.99	29.60	16.61	30.22	33.59	60.36	6.05	35.71	58.84	5.45
22 (1947)	18.09	32.12	14.03	29.89	36.34	58.42	5.24	34.04	60.50	5.47
23 (1948)	19.02	30.46	11.44	29.60	36.21	58.06	5.72	34.09	60.43	5.48
24 (1949)	18.97	30.31	11.34	29.39	35.95	58.39	5.67	34.23	60.24	5.53
25 (1950)	14.12	25.30	11.18	29.33	32.07	60.87	7.07	34.11	60.24	5.65
26 (1951)	11.17	23.07	11.91	29.25	29.43	61.90	8.67	33.83	60.54	5.64
27 (1952)	8.81	20.96	12.15	29.14	27.48	62.99	9.53	33.35	60.93	5.72
28 (1953)	5.68	18.64	12.97	29.03	25.08	63.63	11.29	32.94	61.27	5.79
29 (1954)	3.08	16.75	13.68	28.91	23.15	64.02	12.84	32.61	61.48	5.91
30 (1955)	1.95	15.86	13.91	28.77	22.23	64.15	13.62	32.10	61.89	6.02
31 (1956)	- 0.24	14.77	15.01	28.59	21.04	65.05	13.91	31.34	62.59	6.06
32 (1957)	- 2.96	13.11	16.07	28.43	19.16	64.84	16.00	30.51	63.38	6.11
33 (1958)	- 1.44	13.61	15.05	28.19	19.77	64.30	15.93	29.77	64.04	6.19
34 (1959)	- 2.15	13.22	15.37	28.06	19.34	64.46	16.20	29.03	64.69	6.29
35 (1960)	- 2.95	12.72	15.67	27.86	18.81	64.63	16.57	28.82	64.80	6.39
36 (1961)	- 3.56	12.32	15.88	27.80	18.38	64.65	16.98	28.56	64.95	6.50
37 (1962)	- 3.16	13.11	16.27	27.69	19.56	67.08	13.36	27.49	65.92	6.59
38 (1963)	- 2.34	12.59	14.93	27.70	18.74	63.96	17.30	26.35	66.93	6.74
39 (1964)	- 1.50	13.02	14.52	27.70	19.29	64.14	16.57	25.24	67.89	6.87
40 (1965)	0.30	13.80	13.50	27.68	20.23	63.72	16.05	24.64	68.43	6.93
41 (1966)	-11.08	8.57	19.65	27.73	13.71	62.83	23.47	23.81	69.05	7.13
42 (1967)	1.84	14.55	12.71	27.71	21.15	62.58	15.27	23.41	69.28	7.33
43 (1968)	0.06	13.47	13.41	27.75	19.86	63.30	16.84	23.12	69.41	7.51
44 (1969)	0.05	13.48	13.43	27.76	19.88	63.43	16.68	23.00	69.37	7.63
45 (1970)	0.16	13.42	13.26	27.73	19.80	63.06	17.14	22.94	69.26	7.80
46 (1971)	0.67	13.57	12.90	27.72	19.97	62.70	17.34	22.95	69.14	7.92
47 (1972)	0.48	13.42	12.94	27.65	19.78	62.58	17.64	23.14	68.73	8.13
48 (1973)	0.52	13.44	12.93	27.62	19.82	62.65	17.53	23.26	68.41	8.33
49 (1974)	- 1.03	12.56	13.58	27.54	18.75	62.42	18.84	23.32	68.12	8.56
50 (1975)	- 3.51	11.25	14.76	27.47	17.12	61.92	20.95	23.35	67.79	8.86
51 (1976)	- 4.57	10.67	15.24	27.50	16.39	61.48	22.13	23.30	67.56	9.14
52 (1977)	- 5.51	10.17	15.68	27.60	15.74	61.00	23.25	23.22	67.35	9.44
53 (1978)	- 5.64	10.03	15.68	27.67	15.55	60.61	23.84	23.06	67.20	9.74
54 (1979)	- 6.09	9.84	15.93	27.73	15.31	60.60	24.09	22.82	67.10	10.07
55 (1980)	- 6.48	9.61	16.08	27.79	15.00	60.23	24.77	22.52	67.11	10.37
56 (1981)	- 6.53	9.54	16.07	27.88	14.91	60.00	25.09	22.43	66.89	10.68
57 (1982)	- 5.84	9.77	15.60	27.98	15.19	59.79	25.02	21.99	67.03	10.98
58 (1983)	- 5.22	10.01	15.23	28.06	15.49	59.78	24.72	21.57	67.16	11.27
59 (1984)	- 4.94	10.06	14.99	28.17	15.54	59.47	24.99	21.11	67.37	11.52
60 (1985)	- 5.84	9.64	15.47	28.32	15.00	59.18	25.81	21.50	68.17	10.33

国勢調査人口およびそれに基づく推計人口、人口動態統計による出生数ならびに生命表の生残数( $L(x)$ )によって算出したものであるが、基礎人口は昭和15年以前は総人口(日本に在住する外国人を含む)、22年以降は日本人人口である。なお、昭和15年以前および48年以降は沖縄県を含む。

第7表 安定人口に関する主要指標の定義

指 標	定義および主要数値の計算過程
純 再 産 率	$R_0 = \sum_{x=15}^{49} L_F(x) f_F(x)$ $R_1 = \sum_{x=15}^{49} (x + 0.5) L_F(x) f_F(x)$ $R_2 = \sum_{x=15}^{49} (x + 0.5)^2 L_F(x) f_F(x)$
静止人口平均世代間隔	$\alpha = \frac{R_1}{R_0}$ $\beta = \alpha^2 - \frac{R_2}{R_0}$
安定人口増加率	$r = \frac{1}{\beta} (-\alpha + \sqrt{\alpha^2 + 2\beta \log_e R_0})$ $L_0 = \sum_{x=0}^w L_F(x)$ $L_1 = \sum_{x=0}^w (x + 0.5) L_F(x)$ $L_2 = \sum_{x=0}^w (x + 0.5)^2 L_F(x)$ $L_3 = \sum_{x=0}^w (x + 0.5)^3 L_F(x)$
静止人口平均年齢	$u = \frac{L_1}{L_0}$ $v = u^2 - \frac{L_2}{L_0}$ $w = u^3 - \frac{3}{2} \cdot u \cdot \frac{L_2}{L_0} + \frac{1}{2} \cdot \frac{L_3}{L_0}$ $\int A' dr = ur + \frac{1}{2} ur^2 + \frac{1}{3} wr^3$
安定人口出生率	$b = \frac{1}{L_0} e \int A' dr$
安定人口死亡率	$d = b - r$
安定人口平均世代間隔	$\bar{T} = \alpha + \frac{1}{2} \beta r$

第8表 女子の安定人口に関する主要指標および計算過程の主要指標：昭和55年～60年

主要指標	昭和55年 (1980)	昭和56年 (1981)	昭和57年 (1982)	昭和58年 (1983)	昭和59年 (1984)	昭和60年 (1985)
$r$	-0.0064763	-0.0065331	-0.0058372	-0.0052202	-0.0049373	-0.00584
$b$	0.0096068	0.0095389	0.0097672	0.0100050	0.0100564	0.00964
$d$	0.0160830	0.0160719	0.0156044	0.0152251	0.0149937	0.01547
$R_0$	0.83530	0.83347	0.84934	0.86374	0.87016	0.84764
$R_1$	23.171921	23.198951	23.724471	24.20302	24.48101	23.96532
$R_2$	654.85948	657.88353	675.19756	691.16775	702.01276	690.69356
$\alpha$	27.74068	27.83404	27.43298	28.02109	28.17187	28.27284
$\beta$	-14.43150	-14.59305	-14.72032	-15.01913	-15.25727	-15.48511
$L_0$	78.93488	79.22697	79.70353	79.93701	80.43114	80.59920
$L_1$	3,219.61282	3,241.18538	3,278.83103	3,294.88154	3,334.14864	3,345.08812
$L_2$	178,076	179,767	182,789	184,048	187,293	188,091
$L_3$	11,228,080	11,363,839	11,614,287	11,713,891	11,987,592	12,048,895
$u$	40.78821	40.91013	41.13219	41.21847	41.45345	41.50275
$v$	-592.31074	-595.37116	-601.50275	-603.45243	-610.22863	-611.18475
$w$	954.24681	947.54441	952.70680	945.10636	960.13103	953.20020
$\int A'dr$	-0.27666	-0.28006	-0.25041	-0.22343	-0.21214	-0.25273
$\bar{T}$	27.78741	27.88176	27.97594	28.06029	28.17187	28.31803

第9表 女子の安定人口年齢（各歳・5歳階級別）構造係数：昭和55年～60年 (％)

年齢	構造係数	年齢	構造係数	年齢	構造係数	年齢	構造係数	年齢	構造係数
(1) 昭和55年(1980)									
0	0.9586	25	1.1177	50	1.2777	75	1.1154	0～4	4.8459
1	0.9632	26	1.1245	51	1.2824	76	1.0794	5～9	4.9960
2	0.9688	27	1.1313	52	1.2868	77	1.0395	10～14	5.1565
3	0.9747	28	1.1381	53	1.2909	78	0.9957	15～19	5.3211
4	0.9806	29	1.1449	54	1.2946	79	0.8478	20～24	5.4875
5	0.9867	30	1.1517	55	1.2979	80	0.8961	25～29	5.6564
6	0.9929	31	1.1586	56	1.3008	81	0.8407	30～34	5.8269
7	0.9991	32	1.1654	57	1.3033	82	0.7819	35～39	5.9965
8	1.0054	33	1.1722	58	1.3052	83	0.7202	40～44	6.1602
9	1.0118	34	1.1790	59	1.3064	84	0.6561	45～49	6.3094
10	1.0183	35	1.1858	60	1.3070	85	0.5903	50～54	6.4323
11	1.0247	36	1.1926	61	1.3068	86	0.5238	55～59	6.5137
12	1.0313	37	1.1993	62	1.3056	87	0.4574	60～64	6.5232
13	1.0378	38	1.2060	63	1.3035	88	0.3924	65～69	6.3926
14	1.0444	39	1.2127	64	1.3003	89	0.3299	70～74	5.9881
15	1.0510	40	1.2193	65	1.2956	90	0.2710	75～79	5.1778
16	1.0576	41	1.2258	66	1.2892	91	0.2167	80～84	3.8950
17	1.0642	42	1.2322	67	1.2807	92	0.1682	85～89	2.2938
18	1.0708	43	1.2384	68	1.2701	93	0.1261	90～94	0.8727
19	1.0775	44	1.2446	69	1.2569	94	0.0908	95～99	0.1487
20	1.0841	45	1.2506	70	1.2412	95	0.0623	100≤	0.0056
21	1.0908	46	1.2564	71	1.2226	96	0.0405		
22	1.0975	47	1.2621	72	1.2009	97	0.0247		
23	1.1042	48	1.2675	73	1.1759	98	0.0139		
24	1.1109	49	1.2727	74	1.1475	99	0.0072	合計	100.0000

(2) 昭和56年(1981)

0	0.9522	25	1.1120	50	1.2736	75	1.1261	0～4	4.8145
1	0.9569	26	1.1188	51	1.2785	76	1.0915	5～9	4.9654
2	0.9625	27	1.1256	52	1.2831	77	1.0529	10～14	5.1264
3	0.9684	28	1.1324	53	1.2873	78	1.0103	15～19	5.2915
4	0.9744	29	1.1393	54	1.2913	79	0.9636	20～24	5.4586
5	0.9806	30	1.1462	55	1.2948	80	0.9129	25～29	5.6281
6	0.9868	31	1.1530	56	1.2980	81	0.8582	30～34	5.7994
7	0.9930	32	1.1599	57	1.3006	82	0.8000	35～39	5.9700
8	0.9994	33	1.1668	58	1.3028	83	0.7385	40～44	6.1351
9	1.0058	34	1.1736	59	1.3044	84	0.6742	45～49	6.2869
10	1.0122	35	1.1804	60	1.3052	85	0.6080	50～54	6.4138
11	1.0187	36	1.1873	61	1.3054	86	0.5407	55～59	6.5006
12	1.0253	37	1.1940	62	1.3046	87	0.4732	60～64	6.5181
13	1.0318	38	1.2008	63	1.3027	88	0.4067	65～69	6.4013
14	1.0384	39	1.2075	64	1.3000	89	0.3424	70～74	6.0222
15	1.0450	40	1.2141	65	1.2959	90	0.2816	75～79	5.2444
16	1.0517	41	1.2207	66	1.2901	91	0.2254	80～84	3.9838
17	1.0583	42	1.2271	67	1.2824	92	0.1749	85～89	2.3712
18	1.0649	43	1.2335	68	1.2725	93	0.1309	90～94	0.9068
19	1.0716	44	1.2397	69	1.2603	94	0.0940	95～99	0.1549
20	1.0783	45	1.2459	70	1.2456	95	0.0642	100≤	0.0071
21	1.0850	46	1.2518	71	1.2281	96	0.0417		
22	1.0917	47	1.2576	72	1.2076	97	0.0258		
23	1.0984	48	1.2632	73	1.1840	98	0.0150		
24	1.1052	49	1.2685	74	1.1568	99	0.0082	合計	100.0000

第9表 女子の安定人口年齢（各歳・5歳階級別）構造係数（つづき）

(%)

年齢	構造係数	年齢	構造係数	年齢	構造係数	年齢	構造係数	年齢	構造係数
(3) 昭和57年(1982)									
0	0.9749	25	1.1191	50	1.2608	75	1.1121	0~4	4.9225
1	0.9790	26	1.1252	51	1.2649	76	1.0797	5~9	5.0597
2	0.9841	27	1.1313	52	1.2687	77	1.0436	10~14	5.2058
3	0.9895	28	1.1374	53	1.2721	78	1.0036	15~19	5.3548
4	0.9950	29	1.1435	54	1.2752	79	0.9597	20~24	5.5046
5	1.0005	30	1.1496	55	1.2780	80	0.9119	25~29	5.6564
6	1.0062	31	1.1557	56	1.2804	81	0.8602	30~34	5.8090
7	1.0119	32	1.1618	57	1.2823	82	0.8048	35~39	5.9597
8	1.0176	33	1.1679	58	1.2837	83	0.7461	40~44	6.1046
9	1.0234	34	1.1739	59	1.2845	84	0.6845	45~49	6.2355
10	1.0293	35	1.1800	60	1.2847	85	0.1205	50~54	6.3417
11	1.0352	36	1.1860	61	1.2842	86	0.5551	55~59	6.4089
12	1.0411	37	1.1920	62	1.2829	87	0.4890	60~64	6.4100
13	1.0471	38	1.1979	63	1.2807	88	0.4233	65~69	6.2876
14	1.0531	39	1.2038	64	1.2774	89	0.3593	70~74	5.9274
15	1.0590	40	1.2096	65	1.2730	90	0.2981	75~79	5.1987
16	1.0650	41	1.2154	66	1.2671	91	0.2409	80~84	4.0074
17	1.0710	42	1.2210	67	1.2594	92	0.1890	85~89	2.4472
18	1.0769	43	1.2266	68	1.2499	93	0.1431	90~94	0.9752
19	1.0829	44	1.2320	69	1.2382	94	0.1041	95~99	0.1742
20	1.0889	45	1.2373	70	1.2242	95	0.0722	100≤	0.0071
21	1.0949	46	1.2424	71	1.2077	96	0.0474		
22	1.1009	47	1.2473	72	1.1884	97	0.0291		
23	1.1070	48	1.2520	73	1.1662	98	0.0166		
24	1.1130	49	1.2566	74	1.1408	99	0.0088	合計	100.0000

(4) 昭和58年(1983)

0	0.9986	25	1.1290	50	1.2531	75	1.1049	0~4	5.0366
1	1.0023	26	1.1345	51	1.2564	76	1.0732	5~9	5.1615
2	1.0070	27	1.1399	52	1.2594	77	1.0374	10~14	5.2941
3	1.0119	28	1.1454	53	1.2620	78	0.9974	15~19	5.4292
4	1.0169	29	1.1508	54	1.2644	79	0.9529	20~24	5.5641
5	1.0219	30	1.1563	55	1.2665	80	0.9039	25~29	5.6996
6	1.0271	31	1.1618	56	1.2682	81	0.8509	30~34	5.8359
7	1.0323	32	1.1672	57	1.2695	82	0.7939	35~39	5.9693
8	1.0375	33	1.1726	58	1.2703	83	0.7332	40~44	6.0955
9	1.0428	34	1.1781	59	1.2707	84	0.6693	45~49	6.2081
10	1.0481	35	1.1834	60	1.2705	85	0.6032	50~54	6.2953
11	1.0534	36	1.1887	61	1.2696	86	0.5363	55~59	6.3451
12	1.0588	37	1.1939	62	1.2678	87	0.4699	60~64	6.3341
13	1.0642	38	1.1991	63	1.2650	88	0.4051	65~69	6.2053
14	1.0696	39	1.2043	64	1.2612	89	0.3432	70~74	5.8731
15	1.0751	40	1.2093	65	1.2563	90	0.2852	75~79	5.1658
16	1.0805	41	1.2143	66	1.2501	91	0.2322	80~84	3.9513
17	1.0859	42	1.2192	67	1.2425	92	0.1847	85~89	2.3577
18	1.0912	43	1.2220	68	1.2335	93	0.1433	90~94	0.9535
19	1.0966	44	1.2287	69	1.2228	94	0.1082	95~99	0.2142
20	1.1020	45	1.2332	70	1.2102	95	0.0792	100≤	0.0105
21	1.1074	46	1.2376	71	1.1953	96	0.0561		
22	1.1128	47	1.2418	72	1.1777	97	0.0383		
23	1.1182	48	1.2458	73	1.1570	98	0.0250		
24	1.1236	49	1.2496	74	1.1329	99	0.0156	合計	100.0000

第9表 女子人口の安定人口年齢（各歳・5歳階級別）構造係数（つづき）

(%)

年齢	構造係数	年齢	構造係数	年齢	構造係数	年齢	構造係数	年齢	構造係数
(5) 昭和59年(1984)									
0	1.0039	25	1.1273	50	1.2431	75	1.1034	0~4	5.0605
1	1.0074	26	1.1324	51	1.2461	76	1.0737	5~9	5.1789
2	1.0118	27	1.1376	52	1.2487	77	1.0399	10~14	5.3048
3	1.0164	28	1.1427	53	1.2512	78	1.0019	15~19	5.4325
4	1.0211	29	1.1478	54	1.2534	79	0.9595	20~24	5.5597
5	1.0259	30	1.1529	55	1.2553	80	0.9128	25~29	5.6877
6	1.0308	31	1.1580	56	1.2569	81	0.8619	30~34	5.8157
7	1.0357	32	1.1632	57	1.2582	82	0.8072	35~39	5.9412
8	1.0407	33	1.1682	58	1.2589	83	0.7490	40~44	6.0592
9	1.0457	34	1.1733	59	1.2591	84	0.6877	45~49	6.1633
10	1.0508	35	1.1783	60	1.2587	85	0.6239	50~54	6.2425
11	1.0558	36	1.1834	61	1.2576	86	0.5585	55~59	6.2884
12	1.0609	37	1.1883	62	1.2559	87	0.4932	60~64	6.2753
13	1.0661	38	1.1932	63	1.2533	88	0.4289	65~69	6.1545
14	1.0712	39	1.1980	64	1.2498	89	0.3668	70~74	5.8410
15	1.0763	40	1.2028	65	1.2453	90	0.3080	75~79	5.1785
16	1.0814	41	1.2074	66	1.2395	91	0.2536	80~84	4.0186
17	1.0865	42	1.2119	67	1.2324	92	0.2042	85~89	2.4712
18	1.0916	43	1.2164	68	1.2238	93	0.1605	90~94	1.0491
19	1.0967	44	1.2207	69	1.2136	94	0.1228	95~99	0.2519
20	1.1017	45	1.2249	70	1.2016	95	0.0913	100≤	0.0255
21	1.1068	46	1.2290	71	1.1875	96	0.0656		
22	1.1119	47	1.2329	72	1.1710	97	0.0455		
23	1.1170	48	1.2365	73	1.1517	98	0.0303		
24	1.1222	49	1.2400	74	1.1293	99	0.0192	合計	100.0000

(6) 昭和60年(1985)

0	0.9625	25	1.1061	50	1.2484	75	1.1392	0~4	4.8616
1	0.9669	26	1.1122	51	1.2526	76	1.1102	5~9	4.9986
2	0.9720	27	1.1183	52	1.2565	77	1.0769	10~14	5.1435
3	0.9773	28	1.1244	53	1.2601	78	1.0392	15~19	5.2912
4	0.9828	29	1.1304	54	1.2634	79	0.9968	20~24	5.4402
5	0.9884	30	1.1365	55	1.2664	80	0.9496	25~29	5.5914
6	0.9940	31	1.1426	56	1.2691	81	0.8977	30~34	5.7437
7	0.9997	32	1.1487	57	1.2715	82	0.8414	35~39	5.8948
8	1.0054	33	1.1549	58	1.2734	83	0.7815	40~44	6.0394
9	1.0112	34	1.1609	59	1.2749	84	0.7183	45~49	6.1715
10	1.0170	35	1.1670	60	1.2759	85	0.6523	50~54	6.2809
11	1.0228	36	1.1730	61	1.2761	86	0.5844	55~59	6.3554
12	1.0287	37	1.1790	62	1.2756	87	0.5158	60~64	6.3738
13	1.0346	38	1.1850	63	1.2742	88	0.4477	65~69	6.2826
14	1.0405	39	1.1908	64	1.2719	89	0.3819	70~74	6.0006
15	1.0464	40	1.1966	65	1.2685	90	0.3199	75~79	5.3622
16	1.0523	41	1.2024	66	1.2639	91	0.2629	80~84	4.1885
17	1.0582	42	1.2080	67	1.2580	92	0.2118	85~89	2.5821
18	1.0642	43	1.2135	68	1.2506	93	0.1669	90~94	1.0897
19	1.0701	44	1.2189	69	1.2416	94	0.1284	95~99	0.2727
20	1.0760	45	1.2242	70	1.2308	95	0.0963	100≤	0.0356
21	1.0820	46	1.2294	71	1.2180	96	0.0702	0~14	15.0037
22	1.0880	47	1.2345	72	1.2029	97	0.0497	15~64	59.1823
23	1.0940	48	1.2393	73	1.1850	98	0.0340	65≤	25.8140
24	1.1001	49	1.2440	74	1.1640	99	0.0225	合計	100.0000

## 付 1 計算に用いた資料

本資料に掲載した各指標の算出作業において必要な基礎数値は、各年の日本人人口、出生・死亡数および生残数（生命表の静止人口  $L(x)$  で、これは純再生産率および安定人口諸指標の計算にのみ用いる）であるが、いずれも年齢別の数値が必要である。それぞれ次の資料によっている。なお、昭和55年以前分は、前掲注記の各資料に掲げられている。また、標準化人口動態率は年齢5歳階級、人口再生産率および安定人口諸指標は各歳別によって算出している。

### 昭和55年

人 口：総理府統計局『昭和55年国勢調査報告 第2巻 基本集計結果(1)その1全国編』  
昭和57年5月

出生数・死亡数：厚生省大臣官房統計情報部『昭和55年人口動態統計 中巻』昭和56年  
12月

生残数：厚生省人口問題研究所『第34回簡速静止人口表（生命表）（昭和55年4月1  
日～56年3月31日）』（研究資料第226号）昭和56年10月

### 昭和56年

人 口：総理府統計局『昭和56年10月1日現在推計人口』（人口推計資料No.53）昭和58  
年2月

出生数・死亡数：厚生省大臣官房統計情報部『昭和56年人口動態統計 中巻』昭和57年  
12月

生残数：厚生省人口問題研究所『第35回簡速静止人口表（生命表）（昭和56年4月1  
日～57年3月31日）』（研究資料第228号）昭和57年11月

### 昭和57年

人 口：総理府統計局『昭和57年10月1日現在推計人口』（人口推計資料No.54）昭和58  
年6月

出生数・死亡数：厚生省大臣官房統計情報部『昭和57年人口動態統計 中巻』昭和58年  
12月

生残数：厚生省人口問題研究所『第36回簡速静止人口表（生命表）（昭和57年4月1日  
～58年3月31日）、第37回簡速静止人口表（生命表）（昭和58年4月1日～59  
年3月31日）』（研究資料第236号）昭和60年9月



## 昭和58年

人 口：総理府統計局『昭和58年10月1日現在推計人口』（人口推計資料No.56）昭和59年6月

出生数・死亡数：厚生省大臣官房統計情報部『昭和58年人口動態統計 中巻』昭和59年12月

生残数：厚生省人口問題研究所『第36回簡速静止人口表（生命表）（昭和57年4月1日～58年3月31日）、第37回簡速静止人口表（生命表）（昭和58年4月1日～59年3月31日）』（研究資料第236号）昭和60年9月

## 昭和59年

人 口：総理府統計局『昭和59年10月1日現在推計人口』（人口推計資料No.57）昭和60年6月

出生数・死亡数：厚生省大臣官房統計情報部『昭和59年人口動態統計 中巻』（昭和60年12月）

生残数：厚生省人口問題研究所『第38回簡速静止人口表（生命表）（昭和59年4月1日～60年3月31日）』（研究資料第239号）昭和60年11月

## 昭和60年

人 口：総理府統計局『昭和60年国勢調査報告 第2巻 第1次基本集計結果その1 全国編』昭和61年12月

出生数・死亡数：厚生省大臣官房統計情報部『昭和60年人口動態統計 中巻』昭和61年12月

生残数：厚生省人口問題研究所『第39回簡速静止人口表（生命表）（昭和60年4月1日～61年3月31日）』（研究資料第242号）昭和61年12月

付表1 男女、年齢（5歳階級）別日本人人口：昭和55年～60年

年齢	昭和55年 (1980)	昭和56年 (1981)	昭和57年 (1982)	昭和58年 (1983)	昭和59年 (1984)	昭和60年 (1985)
<b>男</b>						
総数	57,201,287	57,653,685	58,052,601	58,434,853	58,793,381	59,109,872
0～4	4,336,838	4,182,354	4,061,052	3,961,020	3,887,041	3,792,227
5～9	5,109,227	5,040,182	4,896,155	4,709,854	4,504,084	4,344,677
10～14	4,564,462	4,841,728	4,929,369	5,038,351	5,110,784	5,115,079
15～19	4,194,921	4,139,487	4,277,102	4,386,311	4,494,249	4,570,951
20～24	3,932,017	4,924,636	3,968,375	4,014,300	4,057,593	4,133,561
25～29	4,513,252	4,294,062	4,100,607	3,986,995	3,954,202	3,914,705
30～34	5,388,380	5,677,989	5,463,184	5,142,676	4,760,227	4,523,801
35～39	4,568,728	4,346,089	4,535,484	4,806,309	5,053,682	5,365,107
40～44	4,137,879	4,219,075	4,329,252	4,437,716	4,626,930	4,526,633
45～49	4,016,696	4,083,749	4,118,132	4,111,135	4,060,026	4,071,950
50～54	3,531,231	3,633,044	3,726,175	3,805,080	3,853,985	3,910,930
55～59	2,494,018	2,717,278	2,933,867	3,138,848	3,297,142	3,395,073
60～64	1,932,902	1,944,118	1,988,289	2,067,032	2,219,192	2,364,657
65～69	1,734,457	1,757,716	1,759,585	1,754,256	1,725,933	1,770,154
70～74	1,312,106	1,368,451	1,403,613	1,437,059	1,472,090	1,496,528
75～79	845,842	853,660	887,891	919,309	963,145	1,013,672
80～84	416,672	445,024	473,146	499,936	519,339	540,707
85 ≤	171,659	185,043	201,323	218,666	233,737	255,460
<b>女</b>						
総数	59,119,071	59,550,770	59,955,171	60,351,614	60,729,842	61,181,612
0～4	4,121,242	3,970,353	3,853,013	3,755,331	3,685,887	3,615,277
5～9	4,857,560	4,789,467	4,655,017	4,476,734	4,281,676	4,131,456
10～14	4,335,903	4,595,448	4,677,234	4,785,253	4,854,025	4,864,574
15～19	4,020,499	3,956,727	4,079,465	4,177,457	4,275,872	4,350,620
20～24	3,851,795	3,827,524	3,854,945	3,883,229	3,910,567	3,999,703
25～29	4,463,705	4,245,405	4,048,617	3,928,632	3,887,255	3,839,715
30～34	5,320,249	5,605,690	5,403,528	5,091,961	4,716,404	4,461,364
35～39	4,582,423	4,350,891	4,521,118	4,774,433	5,005,580	5,309,439
40～44	4,158,160	4,241,158	4,350,385	4,458,923	4,653,175	4,558,947
45～49	4,041,109	4,107,029	4,149,192	4,148,607	4,100,132	4,124,682
50～54	3,639,106	3,718,080	3,791,509	3,870,747	3,921,250	3,990,955
55～59	3,088,312	3,204,895	3,310,923	3,408,373	3,507,364	3,577,156
60～64	2,509,649	2,578,026	2,676,314	2,792,147	2,933,260	3,012,759
65～69	2,213,149	2,258,188	2,280,258	2,297,968	2,288,581	2,403,561
70～74	1,700,015	1,801,891	1,871,994	1,940,083	1,999,410	2,052,900
75～79	1,184,978	1,197,095	1,248,979	1,299,872	1,380,036	1,471,661
80～84	674,464	719,514	767,650	811,720	847,254	888,616
85 ≤	356,753	383,389	415,030	450,144	482,114	528,227

付表2 15歳から49歳までの年齢(各歳)別日本人女子人口：昭和55年～60年

年 齢	昭和55年 (1980)	昭和56年 (1981)	昭和57年 (1982)	昭和58年 (1983)	昭和59年 (1984)	昭和60年 (1985)
総 数	30,437,940	30,334,424	30,407,250	30,463,242	30,548,985	30,644,470
15	870,112	700,898	898,238	894,508	914,694	929,941
16	815,401	870,249	700,707	897,970	894,189	916,706
17	795,618	815,485	869,976	700,467	897,597	896,189
18	774,391	795,665	815,197	869,642	700,157	902,628
19	764,977	774,430	795,347	814,870	869,235	705,156
20	770,252	764,309	773,780	794,904	814,012	872,977
21	785,140	769,543	763,643	773,319	794,035	812,618
22	766,102	784,450	768,903	763,182	772,499	790,706
23	744,463	765,433	783,813	768,464	762,354	766,661
24	785,838	743,789	764,806	783,360	767,667	756,741
25	818,216	785,324	743,332	764,333	782,477	764,268
26	822,079	817,618	784,821	742,921	763,485	781,209
27	883,644	821,515	817,091	784,350	742,115	763,963
28	938,666	883,014	820,939	816,617	783,482	744,144
29	1,001,190	937,933	882,434	820,411	815,696	786,131
30	1,083,405	1,001,134	937,366	881,883	819,812	819,326
31	1,193,996	1,083,309	1,000,478	936,725	881,164	822,021
32	1,191,427	1,193,822	1,082,496	999,755	935,927	882,924
33	1,136,443	1,191,221	1,192,921	1,081,705	998,791	936,446
34	714,978	1,136,204	1,190,267	1,191,893	1,080,710	1,000,647
35	780,728	714,811	1,135,485	1,189,491	1,191,109	1,081,857
36	958,924	780,570	714,344	1,134,669	1,188,676	1,191,809
37	934,531	958,639	779,975	713,884	1,133,778	1,189,256
38	963,071	934,198	957,910	779,355	713,302	1,133,355
39	945,169	962,673	933,404	957,034	778,715	713,162
40	867,725	944,789	961,853	932,549	956,082	779,199
41	759,866	867,216	943,889	960,838	931,608	953,955
42	821,542	759,407	866,295	942,853	959,715	928,666
43	849,541	820,932	758,525	865,249	941,653	957,467
44	859,486	848,814	819,823	757,434	864,117	939,660
45	835,189	858,454	847,384	818,562	756,264	861,726
46	802,985	834,107	856,977	845,882	817,131	754,687
47	815,793	801,714	832,499	855,379	844,276	814,544
48	800,021	814,308	799,950	830,705	853,608	842,446
49	787,121	798,446	812,382	798,079	828,853	851,279

付表3 女子の年齢（各歳・5歳階級）別出生児数：昭和55年～60年

年 齢	昭和55年 (1980)	昭和56年 (1981)	昭和57年 (1982)	昭和58年 (1983)	昭和59年 (1984)	昭和60年 (1985)
総 数	1,576,889	1,529,455	1,515,392	1,508,687	1,489,780	1,431,577
15	55	72	67	103	112	121
16	416	484	529	591	742	689
17	1,620	1,732	1,943	2,062	2,225	2,232
18	3,895	4,197	4,473	5,170	4,814	4,835
19	8,604	8,970	9,697	10,335	11,305	10,000
20	16,758	16,903	16,777	18,351	18,724	18,826
21	30,457	29,729	29,218	29,557	29,968	28,778
22	49,000	49,948	47,806	46,524	45,328	43,631
23	79,824	75,306	76,853	72,386	69,194	64,649
24	120,817	109,241	105,414	108,093	100,998	91,463
25	151,934	143,415	134,103	131,164	132,410	121,100
26	168,686	162,477	158,470	194,151	146,621	144,476
27	173,996	162,053	162,066	158,651	151,119	146,650
28	165,611	157,440	151,929	152,121	149,412	139,693
29	149,982	141,278	138,666	135,927	136,211	130,984
30	130,616	122,768	118,400	117,463	113,751	113,279
31	104,777	101,027	97,230	95,643	93,968	90,139
32	78,741	80,935	80,043	77,972	76,431	73,676
33	50,382	60,022	62,890	62,991	61,032	58,555
34	24,422	37,205	45,547	48,372	48,011	45,827
35	19,138	18,184	27,829	34,026	36,217	34,615
36	16,266	14,231	13,706	20,825	25,406	26,014
37	10,840	11,287	10,041	9,601	14,874	17,725
38	7,702	7,724	8,200	7,468	6,909	10,344
39	5,181	5,414	5,355	5,784	5,153	4,805
40	3,004	3,254	3,592	3,586	3,813	3,302
41	1,725	1,904	2,105	2,274	2,265	2,354
42	1,200	1,073	1,198	1,300	1,397	1,465
43	650	638	585	649	781	732
44	332	315	292	300	349	371
45	163	134	152	147	137	144
46	53	58	76	62	62	56
47	29	17	29	15	23	33
48	5	13	8	12	13	7
49	8	7	3	11	5	5
15～19	14,590	15,455	16,709	18,261	19,198	17,877
20～24	296,856	281,127	276,168	274,911	264,212	247,348
25～29	810,209	766,663	745,234	727,014	715,773	682,903
30～34	388,938	401,957	404,110	402,441	393,193	381,476
35～39	59,127	56,840	65,131	77,704	88,559	93,503
40～44	6,911	7,184	7,772	8,109	8,605	8,224
45～49	258	229	268	247	240	245

出生数は、厚生省大臣官房統計情報部の各年の人口動態統計。なお、本表の出生数は母の年齢が15歳未満のものを15歳に、50歳以上のものを49歳に加え、不詳の出生数については、15～49歳の既知の年齢別数値の割合に応じて案分補整したものである。

付表4 女子の年齢（各歳・5歳階級）別出生女兒数：昭和55年～60年

年 齢	昭和55年 (1980)	昭和56年 (1981)	昭和57年 (1982)	昭和58年 (1983)	昭和59年 (1984)	昭和60年 (1985)
総 数	765,471	742,859	737,537	733,481	725,183	696,293
15	26	27	35	54	48	56
16	197	242	238	292	348	349
17	762	830	916	1,021	1,013	1,078
18	1,919	2,033	2,205	2,452	2,374	2,319
19	4,259	4,305	4,618	5,004	5,575	4,882
20	8,024	8,133	8,054	8,913	9,154	9,044
21	14,770	14,362	14,253	14,409	14,551	13,955
22	23,726	24,118	23,087	22,748	21,973	21,269
23	38,665	36,640	37,340	35,327	33,984	31,517
24	58,975	53,120	51,289	52,584	49,155	44,361
25	73,740	69,398	65,234	64,079	64,418	58,755
26	81,755	78,755	77,291	72,401	71,626	70,119
27	84,605	78,795	78,594	77,154	73,633	71,244
28	80,659	76,524	74,208	73,821	72,535	68,117
29	72,757	68,588	67,480	66,153	66,043	63,777
30	63,236	59,822	57,683	56,930	55,508	55,424
31	50,478	49,407	47,570	46,298	45,779	43,979
32	38,191	39,163	39,136	37,970	37,206	35,806
33	24,597	29,206	30,537	30,475	29,549	28,614
34	11,852	18,158	22,153	23,536	23,534	22,269
35	9,241	8,853	13,418	16,508	17,535	16,676
36	7,902	6,872	6,783	10,213	12,344	12,504
37	5,315	5,488	4,937	4,632	7,208	8,640
38	3,757	3,778	3,979	3,611	3,307	5,101
39	2,529	2,618	2,601	2,878	2,464	2,325
40	1,482	1,607	1,753	1,714	1,878	1,595
41	848	940	1,030	1,097	1,123	1,143
42	605	510	581	625	675	735
43	323	315	271	323	362	343
44	162	144	150	146	164	182
45	69	60	65	76	66	60
46	28	30	29	21	32	29
47	12	8	14	8	12	14
48	2	6	4	4	6	5
49	3	4	1	4	1	4
15～19	7,163	7,437	8,012	8,823	9,358	8,684
20～24	144,160	136,373	134,023	133,981	128,817	120,147
25～29	393,516	372,060	362,807	353,608	348,255	332,013
30～34	188,354	195,756	197,079	195,209	191,576	186,092
35～39	28,744	27,609	31,718	37,842	42,858	45,246
40～44	3,420	3,516	3,785	3,905	4,202	3,998
45～49	114	108	113	113	117	112

出生数は、厚生省大臣官房統計情報部の各年の人口動態統計。なお、本表の出生数は母の年齢が15歳未満のものを15歳に、50歳以上のものを49歳に加え、不詳の出生数については、15～49歳の既知の年齢別数値の割合に応じて案分補整したものである。

付表5 男女、年齢（5歳階級）別死亡数：昭和55年～60年

年齢階級	昭和55年 (1980)	昭和56年 (1981)	昭和57年 (1982)	昭和58年 (1983)	昭和59年 (1984)	昭和60年 (1985)
<b>男</b>						
総数	390,644	388,575	385,494	401,232	402,220	407,769
0～4	9,359	8,468	7,781	7,148	6,834	6,047
5～9	1,749	1,643	1,477	1,398	1,166	1,156
10～14	1,031	1,126	1,060	1,052	1,064	1,012
15～19	2,969	3,030	3,072	3,185	3,076	3,182
20～24	3,422	3,282	3,309	3,456	3,385	3,400
25～29	4,098	3,677	3,490	3,500	3,285	3,170
30～34	5,550	5,708	5,564	5,405	4,756	4,241
35～39	7,307	6,759	6,446	6,994	7,091	7,116
40～44	10,519	10,149	10,024	10,545	10,839	10,243
45～49	17,613	17,024	16,812	16,627	15,607	15,076
50～54	22,357	23,017	23,330	24,799	24,865	24,368
55～59	22,996	24,574	26,029	28,863	30,007	30,774
60～64	29,233	28,254	27,684	28,441	29,893	30,911
65～69	43,932	42,482	40,945	40,071	38,593	38,273
70～74	57,206	57,289	55,832	56,669	55,269	55,148
75～79	63,938	62,006	61,079	62,888	63,312	65,650
80≤	87,364	90,087	91,560	100,191	103,178	108,004
<b>女</b>						
総数	332,157	331,687	326,389	338,806	338,027	344,514
0～4	6,947	6,473	5,832	5,560	5,250	4,793
5～9	1,025	916	850	847	715	636
10～14	597	618	658	630	592	638
15～19	1,076	1,068	1,032	1,106	1,031	1,033
20～24	1,430	1,354	1,321	1,425	1,351	1,272
25～29	2,178	1,978	1,775	1,753	1,692	1,558
30～34	3,227	3,364	3,304	3,005	2,725	2,497
35～39	4,161	3,878	3,796	3,950	3,995	4,018
40～44	5,613	5,482	5,423	5,465	5,766	5,651
45～49	8,526	8,376	8,272	8,034	7,943	7,646
50～54	11,834	11,664	11,452	11,609	11,228	11,506
55～59	15,022	14,825	14,861	14,927	14,861	14,831
60～64	19,676	19,490	19,258	19,720	19,566	19,965
65～69	29,758	29,114	27,822	27,653	26,818	26,495
70～74	42,177	42,463	41,575	42,225	41,247	40,899
75～79	56,160	55,071	53,076	54,157	54,154	55,668
80≤	122,750	125,552	126,083	136,740	139,093	145,407

死亡数は、厚生省大臣官房統計情報部の各年の人口動態統計による。なお、本表の死亡数は、年齢不詳分を既知の男女年齢別数値の割合に応じて案分補正したものである。

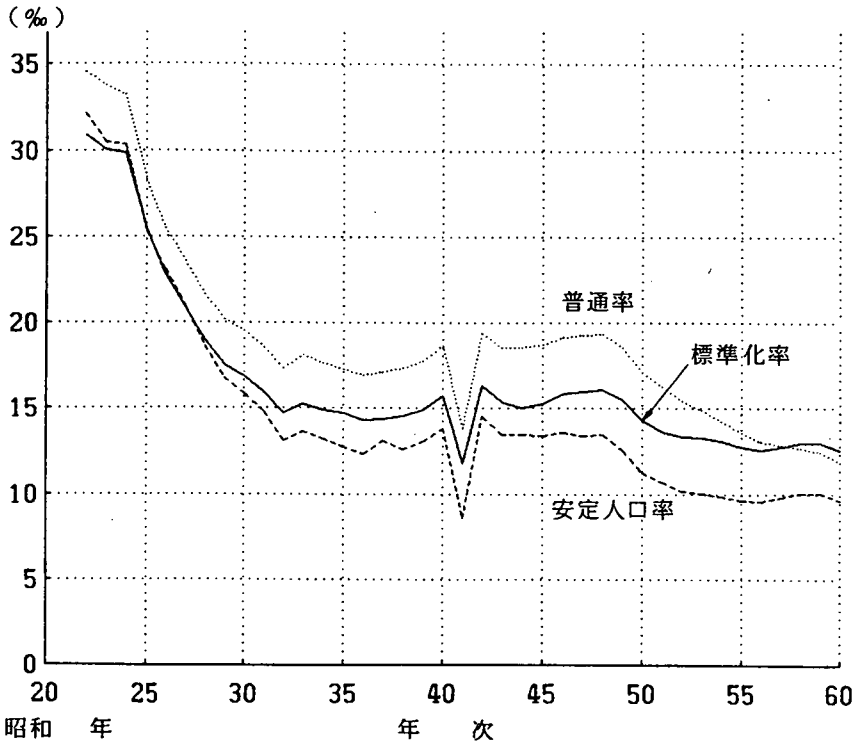
付表6 女子の15歳から49歳までの年齢(各歳)別生残数:昭和55年~60年

年 齢	昭和55年 (1980)	昭和56年 (1981)	昭和57年 (1982)	昭和58年 (1983)	昭和59年 (1984)	昭和60年 (1985)
15	98,952	99,003	99,047	99,100	99,140	99,194
16	98,930	98,981	99,025	99,080	99,121	99,175
17	98,905	98,956	99,000	99,056	99,097	99,154
18	98,877	98,929	98,972	99,029	99,070	99,129
19	98,847	98,899	98,942	98,999	99,040	99,102
20	98,815	98,867	98,910	98,968	99,009	99,073
21	98,782	98,834	98,876	98,935	98,976	99,043
22	98,747	98,798	98,842	98,900	98,942	99,012
23	98,710	98,761	98,806	98,863	98,907	98,981
24	98,671	98,723	98,769	98,823	98,872	98,948
25	98,631	98,682	98,730	98,782	98,835	98,913
26	98,588	98,639	98,689	98,740	98,796	98,877
27	98,544	98,594	98,647	98,699	98,755	98,839
28	98,497	98,547	98,602	98,655	98,711	98,799
29	98,448	98,498	98,555	98,609	98,666	98,755
30	98,396	98,445	98,505	98,561	98,618	98,709
31	98,340	98,390	98,451	98,511	98,568	98,661
32	98,282	98,332	98,395	98,458	98,516	98,611
33	98,219	98,270	98,334	98,402	98,459	98,559
34	98,153	98,203	98,269	98,341	98,399	98,502
35	98,081	98,132	98,200	98,272	98,335	98,440
36	98,005	98,056	98,127	98,197	98,266	98,372
37	97,922	97,974	98,048	98,116	98,192	98,299
38	97,833	97,885	97,962	98,030	98,110	98,219
39	97,737	97,789	97,871	97,938	98,021	98,131
40	97,633	97,686	97,771	97,838	97,924	98,035
41	97,519	97,574	97,664	97,730	97,818	97,931
42	97,396	97,453	97,547	97,614	97,703	97,817
43	97,261	97,321	97,420	97,487	97,578	97,693
44	97,113	97,177	97,281	97,350	97,444	97,558
45	96,952	97,020	97,126	97,202	97,299	97,413
46	96,776	96,849	96,962	97,040	97,141	97,256
47	96,582	96,662	96,780	96,863	96,967	97,086
48	96,372	96,458	96,581	96,670	96,775	96,902
49	96,143	96,237	96,366	96,459	96,566	96,700

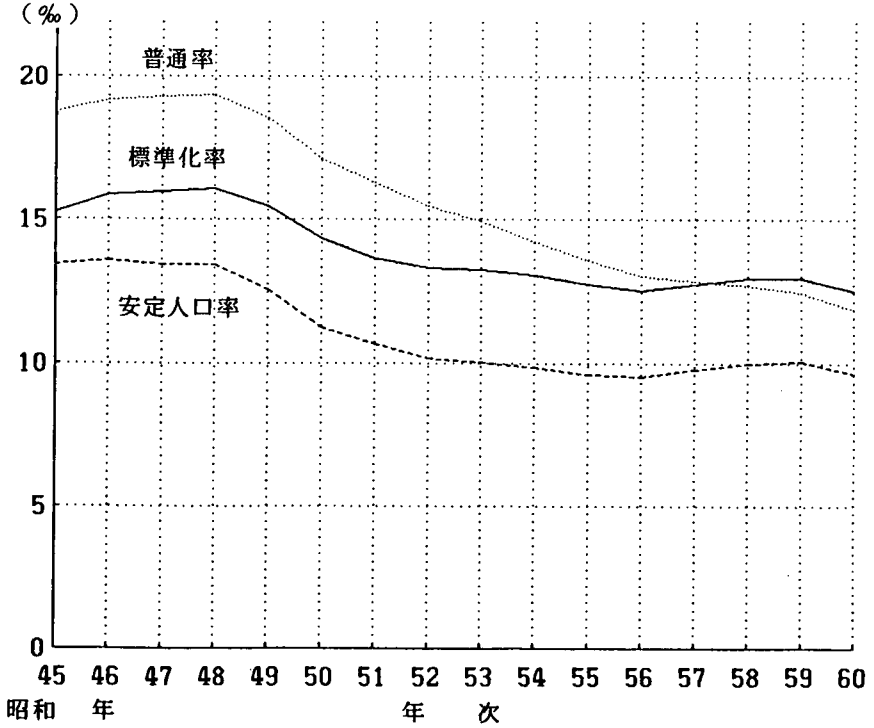
生残数は、人口問題研究所の各回の簡速静止人口表による  $L(x)$ 。ただし、 $l(0)=10$ 万。

付図1 出生率の推移

(1) 昭和22年～60年



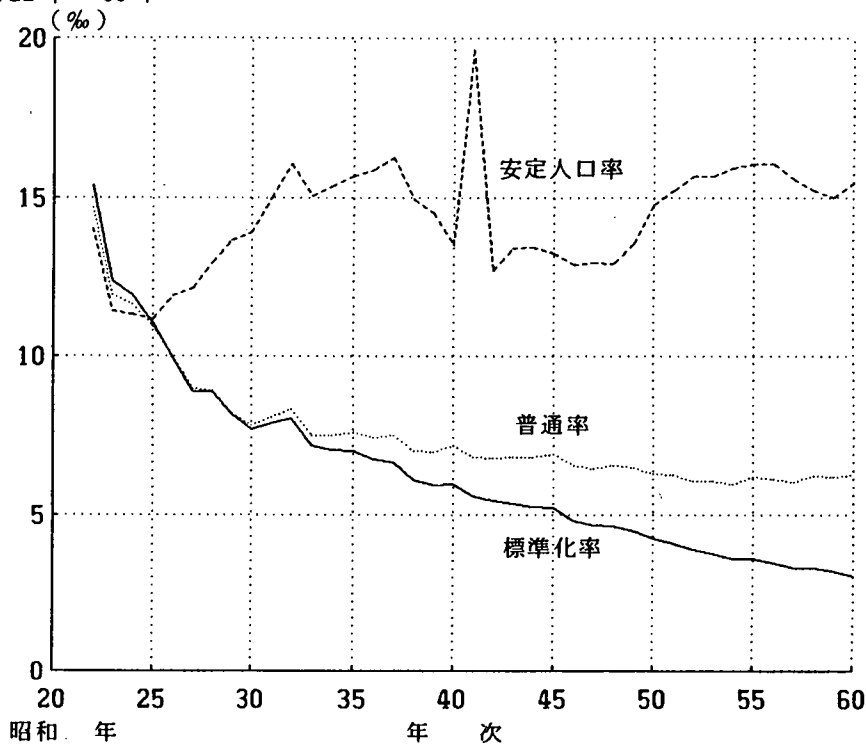
(2) 昭和45年～60年



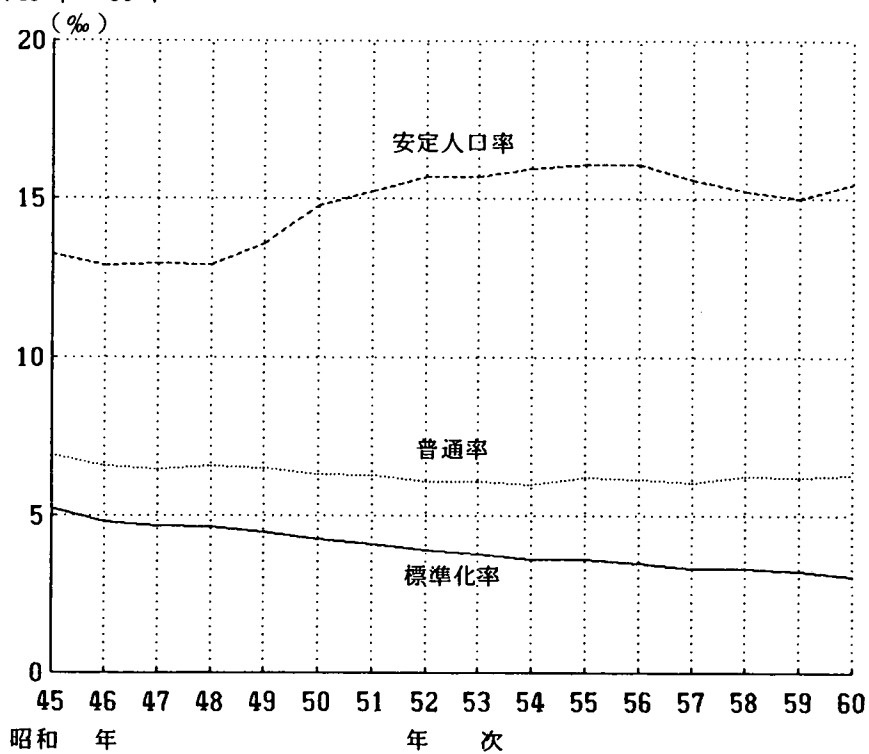


付図2 死亡率の推移

(1) 昭和22年～60年

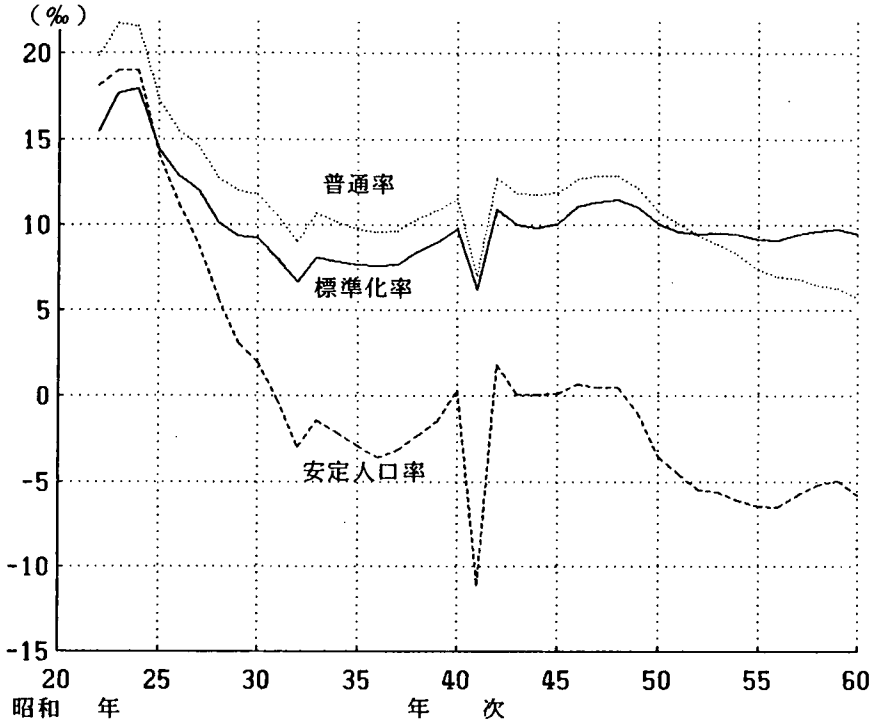


(2) 昭和45年～60年

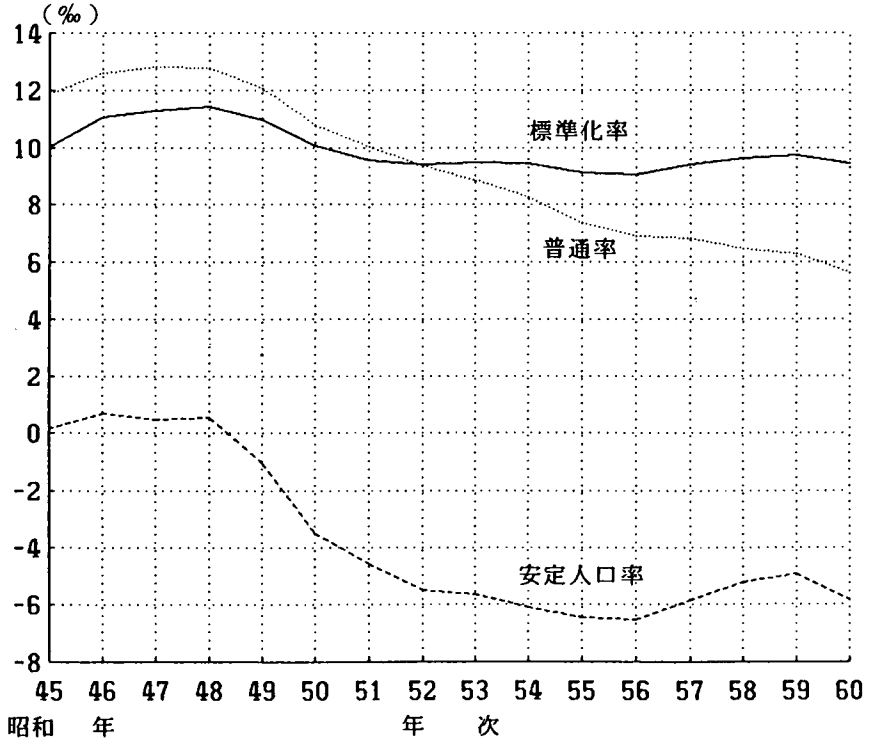


付図3 自然増加率の推移

(1) 昭和22年～60年

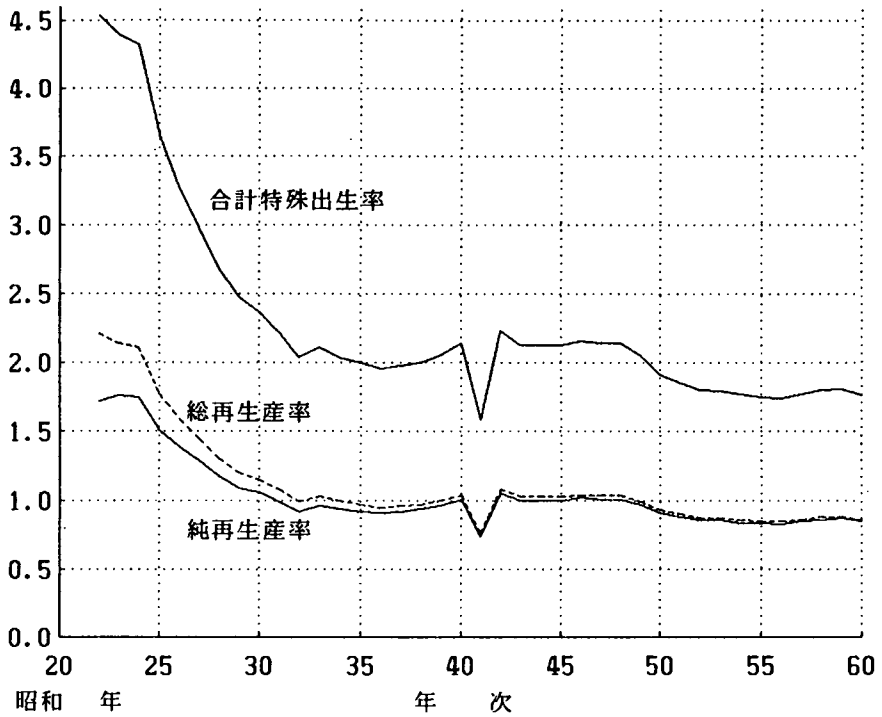


(2) 昭和45年～60年



付図4 女子の人口再生産率の推移

(1) 昭和22年～60年



(2) 昭和45年～60年

